

我が家のペット(家族)自慢

日介センター蒲田

飼い猫を亡くしてから、娘様の勧めで小鳥を飼うことにしたR.Nさん。ネットで信頼できるお店を調べて自ら買いに行って雛から育てた白文鳥は2021年3月で3歳に。体操競技のメダリスト、白井健三選手に因み「ケンゾー」君と名付けるも、卵を産んだことから雌と判明！心配ごとは購入店に即アドバイスを受けるそう。小さいけれど存在感は大きい“カゴ入り娘”です。



←R.Nさんと
「ケンゾー」ちゃん

↓S.Tさんと
「あんず」ちゃん



先代の飼い犬は18歳まで長生きしたとお話するS.Tさん。プードルとチワワのミックス「あんず」ちゃん(5歳)と暮らしています。名前の由来はS.Tさんの家の杏の花が咲く頃に来たからとのこと。足が痛いS.Tさんを気遣い、見上げながら歩くあんずちゃんとの早朝のお散歩が、日課兼リハビリです。ハイタッチがお得意で、食べるのが大好きな頼もしい家族です。

～笑顔がステキで賞インタビュー～

笑顔がステキで賞では、事前に笑顔がステキな方を社員が選んで投票し、当日くじ引きで抽選。2名決定いたしました。受賞者は本社情報システム室の室長、酒井さんと日介ケアセンター六町の施設長、小林さんです。受賞した2人へ、インタビューをしました。



酒井さん：「大変うれしいです。私に投票すれば、当たり障りないという理由で選んでくれたのではないのでしょうか。(笑)」と、謙遜されていました。パソコンの設置等で支店・施設へ行かれる機会が多く、素敵な笑顔が皆さんの印象に残ったのかと思います。

小林さん：「皆様のおかげです。ただ、ここでクジ運を使ってしまってもよいのかな？(笑) 普段から笑顔は大事にしていたので、そこを評価してもらえたのは大変うれしく思っています。」と、普段から小林さんのことをしっかり見ていた皆さんからの票が多かったことから、今回の当選につながったようです。

